

LIONS NEWS

Lions Clubs International 330-A 2016 December Vol.3

百周年記念大パレード
リーダーインタビュー



Anti-Drug Parade in Tokyo

29, Oct. 2016

ライオンズクラブ創立100周年記念
「ダメ。ゼッタイ。」「NOドラッグ」薬物乱用防止大パレード

Drug Abuse Prevention Seminar



Departing Ceremony

ライオンズクラブ創立100周年記念「ダメ。ゼッタイ。」「NOドラッグ」薬物乱用防止大パレードが、ライオンズクラブ国際協会(幹事地区:330-A地区)主催、警視庁、内閣府、警察庁、厚生労働省、文部科学省、東京都、公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターの後援、そして公益社団法人 東京青年会議所の協力で開催された。

式典

9時50分から日比谷公園小音楽堂で行われた式典では、真矢ミキさん、菊川怜さん、河北麻友子さん、リオ五輪競泳女子200M平泳ぎ金メダリストの金藤理絵さんの4名と会場が一体となった薬物乱用防止教室を開催した。〇×クイズ、薬物の誘いを断る寸劇など、身近に迫り来る危険から身を守り「自分を大切にする」方法を学んだ。受講した4人には、村木ガバナーより薬物乱用防止名誉教育講師認定証が手渡された。

出発式

丸の内仲通り有楽町電気ビル前で出発式を行った。

パレード

13時に開始された大パレードは、警視庁音楽隊、日本大学ディッパーズ(チアリーディング)、江東区立明治小学校(マーチングバンド)、中央区、千代田区の小中学生とライオンズクラブメンバー約600名が参加した。丸の内仲通り有楽町電気ビル前で出発式を行った後、晴海通りを東へ、数寄屋橋交差点を左折し、外堀通りを北へ進んだ。一行は有楽町交差点を左折して東京国際フォーラム前を通り、再び丸の内仲通りを東京駅方向へ進み、行幸通りまで約1.7kmを「ダメ。ゼッタイ。」「NOドラッグ」などのプラカードを持ち練り歩いた。沿道には約8万人の市民が集まった。

メディア

様々なメディアから取材があり、薬物乱用防止とライオンズ100周年記念の情報発信(各テレビ局、Webニュースなどで配信)がなされた。

パラリンピックイベント

日比谷公園噴水前で開催された。詳細はP15をご覧ください。

薬物乱用防止運動と100周年の発信

330-A地区の各リジョン、ゾーン、クラブ、そしてキャビネット委員会がパレード成功の目標に向かってまとめ、薬物乱用防止運動を広く社会へ発信した、ライオンズクラブ活動の原点、存在意義を確認できた「100周年記念アクティビティ」であった。

当日の様子は、330A地区ホームページの「ライオンズクラブ創立100周年記念事業 薬物乱用防止大パレード Photo Gallery」をご覧ください。動画もあります。

INDEX

表 2	Anti-Drug Parade in Tokyo
P04	クラブアクティビティ報告
P08	330-A Leaders Interview RC編
P10	330-A Leaders Interview 委員長編
P12	クラブアクティビティ報告
P14	周年、結成式
P15	キャビネット関連報告・委員会セミナー等告知
P16	330MD関連
P17	委員会からの告知と募集、\$献金について
表 4	今後の主な行事予定・編集後記 2016-17広報情報委員会メンバー紹介

Photo Gallery

前代未聞のスケールで行われたこの大パレードの光景は、我々の記憶に深く刻まれ、この実績はライオンズクラブ百年の歴史に燦然と輝き、後世に語り継がれるであろう。

Anti-Drug Parade in Tokyo

29, Oct. 2016



クラブアクティビティ報告

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介します。
魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

「ひまりちゃんに心臓移植を」募金活動

5R2Z東京江戸川南LC

9/30(金)



東京江戸川南LC(井桁秀夫会長)のメンバーが、東京蒼天LCから「ひまりちゃんに心臓移植を」の支援活動を聞きつけ、西葛西駅で支援募金活動を行いました。
ひまりちゃんの祖父L 莊原健も募金に参加して、「西葛西駅の方々、温かい。」と感想をおっしゃっていました。募金金額 921,059円を、救う会口座に振り込みました。

テーマ: 献眼献腎臓器移植
於 西葛西駅



ライオンズ奉仕デー「赤い羽根共同募金」および地域社会福祉に対する支援

13R2Z東京田無LC

10/9(日)・11/2(水)



10月9日(日)田無駅北口広場西東京市社会福祉協議会の依頼により「ライオンズ奉仕デー」の一環として赤い羽根共同募金活動を行いました。募金額は¥58,402集まりました。また、地域社会に対する支援として、11月2日(水)障害者就労施設「さくら園」から新鮮野菜を買い入れ、西東京市内高齢者施設(9ヶ所)へ寄付をしました。野菜高騰しているため大変喜ばれました。

テーマ: 地域交流
於 障害者就労施設「さくら園」



(レポート: 東京田無LC 会長 L 鷲塚 誠)

東京国立ライオンズクラブ杯の開催

13R1Z東京国立LC

10/10(月)・11/3(木)

10月10日(月)、国立市少年サッカー市民大会・東京国立ライオンズクラブ杯(1・2年生の部)が国立市多摩川河川敷グラウンドにて8チーム80名を超える参加者の中、開催されまし



た。日頃の練習の成果とフェアプレイの中での華麗なプレーに応援の保護書から熱い声援が飛び交いました。当クラブでは、平成20年から少年サッカー市民大会の後援行っており、毎年持ち回りカップと盾を寄贈しています。
本年は当クラブ20期の節目として、「東京国立ライオンズクラブ杯・国立市少年サッカー市民大会」の横断幕を寄贈させて頂きました。今年度も3・4年生の部、5・6年生の部と2回大会を行います。
11月3日(木)、同グラウンドにて、(3・4年生の部)11チーム、165名の少年少女の熱い戦いが

テーマ: 青少年健全育成
於 国立市多摩川河川敷グラウンド



繰り広げられました。天候にも恵まれ、日頃の練習の成果が十分に発揮されたプレーに応援の保護者の声飛び交っている活気のある試合でした。
(レポート: 東京国立LC 会長 L 大和祥郎)

日本食文化交流会

テーマ: 国際交流
於 武蔵境シリオス

12R1Z東京武蔵野LC

10/15(土)



10月15日(土)、恒例の「日本食文化交流会」を開催しました。のぞみの家の子供たち、亜細亜大学・国際基督教大学・東京外国語大学・武蔵野大学の留学生のみなさん、ご参加ありがとうございました。
日本の食文化である「寿司」を悪戦苦闘しながら自ら握り、私たちもめっきり機会が少なくなっ



た「伝統芸」をまぢかに観る事が出来、この体験をデジタルでない「ココロ」に永く記憶してもらえれば幸いです。
(レポート: 東京武蔵野LC 広報委員会副委員長 L 柳田淳夫)

チャリティー講演会「将来どんな仕事につきたいですか?」 ～お医者さん、看護師さんってどんな仕事?～開催しました。

テーマ: 青少年健全育成
於 日本橋社会教育大ホール
(人形町)

2R1Z東京MINATO21LC

10/16(日)

対象は、小中学生とその保護者。医療現場で働く方々が分かり易く仕事内容を講演、実体験



するアクティビティです。当日24名が参加(内訳女子16名、男子8名。10歳以上5名、9歳以下19名)。「お医者さんになりたい人?」と質問すると参加者同様女子の方が多く、また心音を聴くのは易しいけれど、肺音を聴くのはドクター用の高性能の聴診器でないと難しいという実体感もしてもらいました。
子ども用の白衣も用意して全員に白衣を着て聴診器を首からかけた姿で記念撮影しました。聴診器など実際に触れることが出来たことが



喜ばれ、次回は親子で一緒に体験をして貰う講演会をやりたいと考えています。メンバー及びボランティア11名を含め総勢60名が参加者とともに将来の仕事について学びました。
(レポート: 幹事 L 小林真理子)

CAP委員会主催 障がい者支援アクティビティ勉強会開催

テーマ: 障がい者福祉
於 荒川区生涯学習センター

7R1Z東京荒川LC

10/16(日)

アクティビティには120人の障がい者が参加、勉強会には25クラブ37名のライオンズメン



バーが参加しました。この勉強会は東京荒川LCが主催する障がい者支援アクティビティ「福祉レクリエーション」の体験を通してノウハウを学ぶ場としてクラブアクティビティ活性化プロジェクト(CAP)委員会が企画したものです。参加者はバーベキュー、歌、踊り、手話を体験しながら障がい者支援アクティビティに関するノウハウを学びました。また荒川区聴覚障がい者協会の大石泰延会長による手話教室、荒川区福祉



協議会の鈴木訪子課長によるアクティビティの歴史について講話があり、たいへん好評な勉強会となりました。
(レポート: クラブアクティビティ活性化プロジェクト(CAP)委員会 副委員長 L 関飛雄一)

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

8R2Z東京神楽坂LC

10/20(木) テーマ: 復興支援
於 新宿区神楽坂THEGLEE



東日本大震災復興支援チャリティーコンサート開催今年で3回目となる東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを行いました。今年は熊本地震の復興支援、日本の貧困の子どもの為にもと、昨年よりすこし規模を大きくして開催しました。ライオンズクラブ国際協会より国際第2副会長グドラン・ビョート・イングバドターさんがアイス



ランドより来日中だった為、少しの時間ではありましたがお立ち寄り頂き、アクティビティの様子を見て頂きました。
(レポート: 東京神楽坂LC L 荻野桂一)

第18回環境フェスタくにたち・第47回国立市市民祭り

13R1Z東京国立LC

10月22日(土)、「第18回環境フェスタくにたち」が、国立市谷保第4公園及び国立市民芸術小ホールにて開催されました。チャリティー焼き団子の販売を行いました。600本の団子を全て完売しました。



10/22(土)・11/6(日)

また、11月6日(日)、第47回国立市市民祭りに参加し、「チャリティー団子」の販売を行いました。国立市の市民祭は、国立市商工会青年部が主催している「天下市」(商業祭、一橋大学が主催している「一橋祭」の3つが同日開催となる6日は、メイン道路の大学通りを歩行者天国として、市民表彰式典、参加団体の大パレード、警視庁楽団や消防署パトロン隊等、各諸団体の催しが出演、出展され、大変多くの市民と市外からも来場があり、約1万人の人が楽しんでいました。東京国立ライオンズクラブ

テーマ:環境
於 国立市谷保第4公園及び国立市民芸術小ホール・大学通り緑地帯



では、市民祭へ協賛とアクティブティとしての「天下市チャリティー団子」販売を行い、少ないメンバーの中でも一致団結、協力し合い、1,200本の団子を備長炭で丁寧に焼き上げ販売、完売しました。売上は、青少年育成事業として活用させていただきます。

「盲導犬育成募金」・「熊本震災募金」

テーマ:地域交流
於 第15回稲城市民祭り

12R2Z東京稲城多摩LC



10/22(土)・23(日)

アイメイトの見習い盲導犬と一緒に「盲導犬育成募金」を実施。又、ミニコンボによるスーパーボールすくいを子供たちに100円募金をお願いし、楽しんで貰いました。(尚、当日口頭にて「熊本被災地支援募金」に変更として実施しました。) 集まった募金はアイメイト協会・337-E地



区のHPに掲載されていた熊本地震義捐金口座、ガバナー安田俊也宛に送金しました。(レポート:東京稲城多摩LC 事業委員長 L塚田忠次郎)

ライオンズクラブ国際協会100周年記念”薬物乱用ダメゼッタイ!”銀座大パレード出演!

10R1Z東京表参道LC

「東京表参道ライオンズクラブよさこい」チームが、銀座の真ん中で演舞を披露してきました。単一クラブがパレードの一部を担うのは我々



10/29(土) テーマ:青少年健全育成
於 銀座

のみとの事で、大変光栄な機会を頂きました。また、大変多くの皆様に喜んで頂くことができ、出演した大学生25名、社会人25名、計50名の表参道よさこいメンバーにとって記念すべき感動の1日になりました。今年、【ライオンズクラブの旗】を全員の衣装に取り入れた振り付けで、夏のよさこい祭りへの出演、ポップコーン国際会長公式訪問での演舞、東京都障がい者ダンス大会(ドレミファダンスコンサート♪)でのパフォーマンス、そして、今



回の銀座大パレードと、ライオンズの誇りを胸に踊りきった年になりました。これからも益々、ダンスと音楽で奉仕の和を広げていきます。(レポート:東京表参道LC L飯田容子)

「親子ふれあい祭」開催

10R2Z東京さぎそうLC

今回で14回目となる継続アクティビティ。クラブ会員・家族・地域のボランティアで行う手作りのイベント



テーマ:障がい者福祉
於 都立久我山青光学園

10/30(日)

です。都立久我山青光学園にて特別支援学校の生徒・保護者だけでなく、地域の方々含め自由参加。体育館で開会式を行い、体操、楽器演奏等を楽しみました。普段 障がい者が理由でお祭りに行けないというご家族のために学校にお祭りを出席するイベントです。学園中庭ではクラブ会員・家族・地域ボランティア手作りの料理や遊びの広場となり、縁日の屋台風にし、焼そば、ウィンナー、おでん、ポップコーン、フライドポテト、お餅、ガラポン、手作り竹とんぼなどを提供しま



した。今年もメンバー総動員のほか、学校のPTA、地域の青年会、ボランティア部に所属する中学生、NPO法人の関係者など さまざまな方と連携して地域一体の活動となりました。機材運搬、会場設営、調理、イベントの運営、片付けまで一日仕事でしたが、参加者のほじける笑顔にこちらが元気をもらいました。(レポート:東京さぎそうLC 幹事 L島田光子)

岩手県大船渡保育園でチャリティコンサート

テーマ:復興支援
於 大船渡保育園

8R2Z東京神楽坂LC



11/1(火)・2(水)

東京神楽坂ライオンズクラブとして復興支援をしてから5回目の現地入りです。今年はDSTARSのTOMOKOさんとHIDEさんの協力のもと、神楽坂祭りでの屋台の売上とチャリティコンサートでの皆さんからの寄付金を、二つの大きな贈り物にしました。一つ目は大船渡保育園の子ども達にミニコンサート、二つ目は、大船渡近隣の保育園13園に絵本などを贈る事が出



来ました。園児達や先生の笑顔がとても素敵でしたが、物心両面でまだまだ復興に時間がかかる事を目の当たりにしたアクティビティでした。帰り際に子ども達が「バイバイ また来てね～」の言葉に胸打たれ帰路につきました。(レポート:東京神楽坂LC L荻野桂一)

児童養護施設の子供たちを招待し芋ほり・バーベキュー

10R2Z東京三軒茶屋LC



11/13(日) テーマ:社会福祉
於 横浜の農園

当クラブが継続して支援を続けている、児童養護施設の子供たちを横浜の農園に招待し、バーベキューや芋ほりイベントを行いました。会員数名が日頃よりいろいろな野菜を育てている横浜の農園において、ちょうどサツマイモが収穫の時期を迎えました。まず会員が、畑に覆いかぶさっている葉や蔓をよけて掘りやすくする一方、バーベキューの準備も同時に行いました。



子供たちは到着するやいなや「ジャングル探検!」と茂みに駆けていって虫を捕まえたり、バーベキューのお肉や焼きマッシュマロを「おいしい!」とほおばり、最後は大きなサツマイモをたくさん収穫して帰りました。(レポート:東京三軒茶屋LC 幹事 L福島和正)

調布駅前献血奉仕活動

12R1Z東京調布LC



11/15(火)

東京調布LC会員総出で、調布駅前にて献血奉仕活動を行いました。献血呼びかけのティッシュ配り、献血者御礼用のドーナツ手配、クラブ名入りシール貼り、受付や誘導などを行い、多数の方にご協力頂きました。(レポート:東京調布LC 会長 L宮澤千昭)

テーマ:献血
於 調布駅前



「親子ふれあい祭」開催

2R3Z東京蒼天LC



テーマ:東日本震災復興支援
於 ホテルベル鐘山

11/19(土)・20(日)

11月19日(土)20日(日)東京蒼天LC主催「歌って、泊まって、お風呂に入って、東北に元気を届けよう!」第5回記念チャリティのど自慢大会が山梨県富士吉田市のホテルベル鐘山(メンバーの経営)で開催された。第1部例会、第2部のど自慢大会、第3部チャリティオークションの三部構成。村木ガバナーも駆け付け総勢50人が集まり盛大に行われた。東日本大震災から5回目となり「これから宮城県名取市の朝市



などに参加し、地元学生ボランティアや地域の人々との心の交流を継続したい」と、会長L川島が東日本震災復興支援への熱い思いを語り、We Serve、友愛の精神につつまれ、皆の歌声で例会を盛り上げ心暖まる夜であった。(レポート:広報情報委員会)

リジョン・チェアパーソン編

10.29.薬物乱用防止大パレードが行われ、沿道には約8万人の市民が集まり、薬物乱用防止運動を広く社会に発信した。今回、沿道応援の動員に各リジョンで手腕を振るったリジョン・チェアパーソン(以下RC)の皆さまに、規模の大きいアクティビティに携わり、陣頭指揮をとった感想と今後のアクティビティの展開についてインタビューした。



自己紹介時の共通質問 ① ライオンズ歴 ② 会長期の取り組み ③ キャビネット役員になって

4R RC L松本 光史(東京江東LC)

①入会42年。②古参メンバーと新人との融和を心がけた。今ベテランになりその時期の経験が役に立っている。③都内各所でオリンピック招致の署名を行いその結果として東京開催が決まったこと。

5R RC L高橋 芳久(東京江戸川中央LC)

①入会24年。②会員増強に注力し10名増やした。古いメンバーが厳格で、新しい価値観の若手との世代間交流を常に意識した運営を行った。③新しいことに挑戦しやすい環境を整え50代のメンバーへ仕事を任せられるようにした。未来志向型の運営が可能となった。

8R RC L橋本 光祥(東京豊新LC)

①入会19年。②例会時間の変更を実施、世代間交流を円滑にして若手メンバーが入会し易い雰囲気を作った。③キャビネット役員として委員会、キャビネット会議などに必ず出席することを第一に考え、頂いた役割(委員長2回)にベストを尽くした。

9R RC L谷山 光俊(東京ウエストLC)

①入会18年。②移動例会を月に1度開催し若手メンバーの参加率を上げた。配偶者も入れた家族会議も併設し交流を促した。③初夏開催の都障がい者スポーツ大会運営、事業内容を明確にし、誰にでも参加しやすい大会とした。

① パレード開催決定の7月キャビネット会議以降～実行委員会～当日までについて



4R RC L松本 光史
(東京江東LC)

- 当初は詳しい情報が無く、何を目的にパレードをやるのか、よくわからなかった。
- 開催目的を皆で共有することに時間をかければ、より参加意識が高まったと思う。
- 各種実行委員会の日程が間際まで告知されず、急な決定に対応するのが大変だった。
- テーマとして今、社会で問題になっている「薬物乱用防止運動」を取り上げたことがパレードの趣旨をPRしやすく、誇りをもってライオンズ100周年事業を語れた。
- 幹事団の皆さんの準備にご苦労されたことが当日の円滑な運営に現れていたと思う。
- 白バイに先導されて数寄屋橋、銀座を練り歩けたことは330-A地区のメンバーでないとできない経験だった。感謝している。



9R RC L谷山 光俊
(東京ウエストLC)

② 薬物乱用防止運動の発信について

- 日比谷公園での薬物乱用防止教室に芸能人が参加しクイズ、寸劇など分かりやすくプレゼンしたことに意義があった。今回の様子を動画(DVD)作成して小中学校での教材としていけば、本アクティビティの価値がより上がると思う。
- 朝の情報番組を担当している女優を抜擢したことは、話題性発信力を兼ね備え称賛に値する。薬物乱用防止を発信するには、地道な小中学校の教室とともに派手なPR作戦も必要であることが分かった。

③ 会員増強の一助となっていくのか

- 今回テーマが明確で、ライオンズが今何をやっているのかを様々な会合で話やすくなった。今後、パレードを開催したことは会員増強のツールになると思う。
- 沿道応援に一般の方、入会候補者にも参加いただいた。薬物乱用防止、銀座パレード、女優・メダリストとセールスポイントがはっきりしていたことで一声かけやすかった。



8R RC L橋本 光祥
(東京豊新LC)

④ 各リジョンの動員について

- 実行委員会が開催されることに沿道応援の内容が変更になることが多くゾーン、クラブへの伝達が円滑でない状態で、ZC、クラブ会長はメンバーとの調整をよくやってくれたと思う。改めてお礼を申し上げたい。
- パレード前に全クラブへ例会訪問を行い、動員をお願いした。特に人数の多いクラブには多数の応援参加を促した。
- 9月下旬にクラブ会長との懇親会を企画し、アクティビティ・パレードの重要性を伝え動員をお願いした。
- クラブごと何名という割り当てではなく、比率で(例えば75%)の動員をお願いした。
12月上旬には、まとめ役のクラブ三役、キャビネット出向者とパレード応援反省会を行う予定。



5R RC L高橋 芳久
(東京江戸川中央LC)

⑤ 今後のアクティビティの展開と発展について

- メンバー数、若いメンバーが多い場合はクラブ単位で行うことが容易だ。逆の構成となると新しいこと大規模なことへの挑戦は難しい。内容によってはゾーン、リジョンでまとまって開催するのが望ましいと思う。
- アクティビティの規模に応じてゾーン、リジョンで開催するという方程式を作っても良いと思う。また、キャビネット主導の場合、情報伝達に時間や担当者との連絡経路等に問題が発生することがあるので慎重に対応する必要があると考えている。
- 年度で競い合って大きなアクティビティをすることが本来のライオンズなのかを皆で考えることも必要。クラブ単位で自主的に地域への奉仕活動をしっかり行えば330-A地区の足腰が強くなり会員増強にも結びつくと思う。
- キャビネット主導の大規模なアクティビティを毎年行うことは難しいと思う。奉仕は主権在クラブ、地域活動が基本で、外部へのPRはキャビネット主導という双方が連携するとより魅力あるアクティビティへと展開・発展していきと考えている。

13時00分～15時00分 於:330-A地区 事務局

◇出席者: 4R RC L松本 光史(東京江東LC)
5R RC L高橋 芳久(東京江戸川中央LC)
8R RC L橋本 光祥(東京豊新LC)
9R RC L谷山 光俊(東京ウエストLC)

◇聴き手: 広報情報委員会 委員長 L赤尾 嘉晃
◇撮影: 同副委員長 L吉岡 晋、L桂 太郎

2016.11.18.330-A
Leaders Interview
委員長編

10.29.薬物乱用防止大パレードが行われ、沿道には約8万人の市民が集まり、薬物乱用防止を広く社会に発信した。330-A地区の目標として会員増強の機会、100周年を祝うお祭りであり、今回会員増強委員会L重信眞一と100周年記念委員会L吉田宗一郎の両委員長にパレード後、様々な切り口でお話を伺った。



会員増強委員会 委員長
L 重信 眞一
 10R2Z 東京シティLC(入会11年)

100周年記念委員会 委員長
L 吉田 宗一郎
 12R1Z 東京武蔵野LC(入会19年)

会員増強委員会 委員長 L 重信 眞一

会長期の取り組み:会長就任時は退会者が多く、メンバーが10名以下になっていた。それを6名増やし、更に2年後の会長期は11名の会員増強を行った。その後も正会員の増強に励み、今期国際協会より25名増強のシニアマスターキーを贈呈された。

**100周年期の委員長に就任して、
 会員増強への思いとは**

これまで3年間、委員と副委員長という立場で会員増強の力になってきました。

今までの経験を踏まえ委員長として、メンバーとの協体制のもと一般の方にライオンズクラブをより知っていただくために、奉仕活動などの内容をわかりやすく説明しながら、会員増強をして行きたいと思っています。

会員が減少すれば奉仕活動の規模も縮小します、奉仕活動を新たに計画したり継続して拡大して行くために仲間を増やす努力を続けます。

13時00分～14時30分 於:330-A地区 事務局

◇聴き手: 広報情報委員会 委員長 L赤尾 嘉晃
 同副委員長 L吉岡 晋

◇撮影: 同副委員長 L後藤裕文、L桂 太郎

**現在の状況と目標・
 女性会員の増強について**

330-A地区のメンバーは6,400名を数えますが、実質(正会員)は4,500人ほどと思っています。近年家族会員の増加が顕著ですが、その反面正会員1名が退会すると複数の家族会員の退会につながります。これも退会者数が多い原因のひとつと考えます。家族会員も大事ですが、正会員を増やす方向で会員増強をしなければ将来に向け継続的な会員の増加にならないのではないのでしょうか。

今期は村木ガバナーからの要望もあり、会員増強「純増800人」を目標に掲げました。各クラブ4名の純増で目標が達成できます、そのために委員会メンバーが担当リジョンを持ち、その諮問委員会に赴き会員増強の協力をお願いし、他クラブの成功例を発表しながらの意見交換を行って、会員増強に必要な方法論を導きます。

日本のライオンズクラブでの女性会員の比率は、25パーセントを超えましたが、さらなる拡大を目指します。女性会員が増える事で、多くの女性リーダーが誕生します。未来へ向けたライオンズクラブのためには女性リーダーが必要と考えます。

また、私のクラブにも女性会員がいますが、女性会員は男性会員の入会を促し、実績もあがっています。今期の目標であります、「各クラブ純増4名」の内1名は女性会員でお願いしたいと思います。

薬物防止大パレードが会員増強に与えたもの

薬物防止大パレード当日、観覧されている一般の方々に委員会メンバー全員で、パンフレット「ライオンズクラブ入会のすすめ」を1,800枚配布しましたところ非常に反応が良く、ライオンズクラブの事や奉仕活動の内容など熱心に質問される方も大勢いました。

このような流れを途切らせないように、来年の2月9日に会員増強委員会主催、FWT task forceとエクステンション委員会の協力で「会員増強セミナー」を開催します。

このセミナーでは、88代警視総監(予定)をお呼びして講演を行い、その後懇親会ではメンバーと入会希望者、入会検討者との親交を深めて頂き、入会につながるようにライオンズクラブを理解していただきたいと思っています。

今後の会員増強委員会の方向性と役割

会員増強に大事なものは、「一声かける」事ではないでしょうか。自分の周りにいる、友人や仕事関係者、その他の組織(県人会や趣味のサークル)の方々に「ライオンズクラブに入りませんか、奉仕活動に参加しませんか」と声をかけましょう、例えば、復興支援募金や献血支援などライオンズクラブでなければできない奉仕活動がたくさんあります。常に相手の気持ちを考え、誠意を持って声をかけましょう、自分のクラブでは地理的に参加しづらい場合は他クラブを紹介するなどの、紹介制度も将来的には必要と思います。

ライオンズクラブは多くの人と知り合い、友情を深めることができます。楽しくなければライオンズクラブではありません。クラブメンバー全員が楽しい活動を心がければ退会者も減り、多くの方がメンバーになってくれると思います。今後も会員増強委員会は「減らさず、増やす」そのためのサポートを全員でさせていただきます。



100周年記念委員会 委員長 L 吉田 宗一郎

会長期の取り組み:アクティビティの充実を行った。地域、団体ヘッドネーションを手渡す一方通行型から、メンバー全員で参加しての新規(障が者こいこいパーティ)アクティビティを企画実行し現在も続いている。

**100周年記念委員会委員長としてライオンズ
 100周年に対する思いをお話し下さい**

ガバナー諮問事項にもあるように、100周年奉仕チャレンジの推進、GMTに協力し各クラブの100周年会員増強プロジェクトの支援、レガシープロジェクトと多岐にわたる。100周年はお祭りにとらえて様々なアクティビティに対して楽しくかかわれる雰囲気づくりをしたいと思っている。なお、国際協会として福岡以降、シカゴ、ラスベガスまでの3大会、約2年間を100周年という考え方をしている。

現在の委員会活動内容は

100周年奉仕チャレンジ(青少年・視力・飢餓・環境)奉仕対象者登録の促進を各クラブに行っている。当初目標が1億人だったが、早々と越え、現在全世界で1億2千人に達している。MyLCIのからの登録が必要で、ガバナー公式訪問時に各クラブにリサーチしたところ81クラブ中59クラブが登録を行える環境であることが分かった。今後も登録促進を行っていききたい。

**100周年パレードに参加しての感想と
 レガシープロジェクトについてお話し下さい**

今回のようなテーマが明確で大規模なアクティビティはキャビネット主導で仕掛けても良いと思う。入会候補者、メンバーにも声掛けし易く、PR効果は大きかった。少人数のクラブアクティビティではこれだけの情報発信は難しいと思う。

レガシープロジェクトについては、10.29.パレードが開催されたことを記録する、例えば時計台のようなものを出発点の数寄屋橋か、ゴールの日比谷公園に設置することを委員会内で協議し、村木ガバナーの意向を踏まえて3月下旬設置を目標に各方面と交渉を行っている。

今後について

100周年のお祭りは、続きます。100周年をお祝いするアクティビティを展開していけば良いと思う。クラブレベルで、330-Aニュース、HPの情報を参考にして、興味深い活動をしている他クラブへ出向き見学し、新たな発想で地域へ奉仕を展開すれば101年目以降、自クラブ発展の可能性が広がると考えている。

晴海ライオンズクラブ杯・旗争奪少年野球大会

2R2Z東京晴海LC

11/20(日)

東京晴海ライオンズクラブ主催の第8回「晴海ライオンズクラブ杯・旗争奪少年野球大会」が、11月20日快晴のもと晴海少年野球場にて開会式が行われました。キャビネット役員から今井第2副地区ガバナー、第2R第2Z肥田晴三ZC。



広報情報委員会の委員長赤尾嘉晃Lの3名の出席があり、約350名の入場行進が始まった。優勝杯・旗の返還(1位～3位)とデブリカを手渡した後、選手宣誓が行なわれ、参加賞(各チーム1ダースのボールと選手全員にボールペン)を来賓とともにクラブメンバーが贈呈しました。

中央区内の少年野球全19チーム(低学年9チーム、高学年10チーム)が「杯・旗の争奪戦」を11月20日～12月23日の日曜祝日7日間で行い、低学年9試合・高学年10試合トーナメント方式で優勝チームを決定します。試合場は月島運動

テーマ:青少年健全育成・地域交流
於 晴海少年野球場



場・晴海少年野球場と月日で替わります。過去、本大会に出場した選手が、甲子園にも出場致しました。地区内在住の保護者・監督・コーチ・審判員の協力により、8回を迎えることが出来ました。今後も関係者各位の協力を得て青少年健全育成の一環として継続をする予定です。(レポート:東京晴海LC 幹事 L脇村孝友)

第8回チャリティボウリング大会

12R2Z東京町田クレインLC

11/22(火)

昨年度4月に鶴川駅前において実施した駅頭チャリティ募金に続き、熊本地震災災害支援のチャリティ事業として町田ボウリングセンターに於い



て、ボウリング大会を開催しました。当日は12R2Zの前田ZC、町田LCからも5名のメンバーをはじめ66名の一般の方々にご参加いただき、楽しくプレイをしていただきました。当クラブ会長の樋口Lが各レーンにチャリティBOXを持って回り、沢山の支援金をご協力いただきました。プレイ終了後、隣接するホテル・ラポール千寿閣において行われたパーティーならびに授賞式では沢山の豪華賞品を手渡しし、親交を深めご参加いただいた方々に喜んでいただきました。

テーマ:熊本震災復興支援
於 町田ボウリングセンター



本年度は来年2月にもチャリティボウリング大会を予定しており、さらに多くの方にご参加を呼びかけ、皆様からお預かりしたチャリティ支援金を熊本ならびに近隣の地域の復興支援に役立てたいと思います。(レポート:東京町田クレインLC 幹事 L小林直人)

ツリークライミング体験会

テーマ:青少年健全育成
於 八王子市片倉つどの森公園

14R1Z合同アクティビティ

11/23(水)



八王子市片倉つどの森公園にて小学生48名の参加を得てツリークライミング体験会を開催した。14R1Z合同アクティビティとして総勢35名のメンバーの参加協力があり、冷たい風が吹き肌寒い天候にも負けず、子ども達は元気に木と戯れた。開始直後はぎこちない動きだった子ども達も30分も経過するとコツを掴みスルスルと高いところまで登り満足げな笑みを浮かべ



ていた。体験会を終了し木登り証明書を受け取った多くの子供達から、「次回はいつ開催しますか?」と、すっかり木登りの楽しさに魅了された。次の機会を待ち望む声が聞かれた。(レポート:青少年育成委員会 L今井 治)

第14回台東区立忍岡中学校・黒門小学校合同弁論大会「青少年の声を聴こう」

6R2Z東京上野LC

11/26(土)

テーマ:青少年健全育成
於 上野精養軒



第14回台東区立忍岡中学校・黒門小学校合同弁論大会「青少年の声を聴こう」と題し、上野精養軒にて50名あまりの児童・保護者・学校関係者を招待して弁論大会を開催しました。小中学生14名の熱のこもった弁論大会となり、優秀者にはトロフィー・賞状・記念品を贈呈しました。当日はゲストスピーカーとして金田賢一



様をお招きして「夢をかたちにしてください」と、いう講演をして頂きました。

第12回剣道ライオンズ少年剣道大会

11R2Z東京剣道LC

11/27(日)

2016.11.27.(日)第12回剣道ライオンズ少年剣道大会が中野区中野体育館で開催された。参加者は、過去最高の974名が都内各所より集まった。

本大会は、12年前中野区を含む城西5区の一大会という位置づけで始まり参加者も500名



前後だった。近年国際的な剣道ブームで少年少女剣士が増加、都内各地域から参加の申し出があり、現在では1,000人規模となり参加者も多く、競技レベルも高い大会となった。開会式、選手宣誓のあと「礼に始まり礼に終わる」剣道精神に満ち溢れた熱戦が開始された。背筋の伸びた少年少女剣士の試合に臨む姿が印象的。

大会を運営するメンバーは、みな剣道の有段者で月二回の例会うち一度は、稽古会を行い自身の技術の向上と審判の腕を磨いている。「今後は全国のライオンズへ同様の少年大会を広げていきたい」と会長L中村福義は語った。剣道というスポーツを通じて仲間が集まりクラブが結成されている点は特徴的。様々なスポーツを

テーマ:青少年健全育成
於 中野区中野体育館



中核としたクラブ結成、運営などでお手本になる点が多くあり、これからのライオンズの発展性を感じる大会であった。

主催:東京剣道LC、後援:東京しいの木LC、東京赤坂LC、中野区剣道連盟、東京中野LC、協力:江戸川区、葛飾区、渋谷区、新宿区、杉並区、世田谷区、三鷹市、中央区の剣道連盟。(レポート:広報情報委員会)

住んで安心中野が一番・中野安全宣言

11R2Z東京中野LC

11/27(日)

当クラブの薬物乱用防止啓発活動は、諸先輩によって30数年以前から行われてきました。15年ほど前から薬物乱用防止委員会を3班(6名構成)とし、区内の小、中学校、高校の卒業予定



者に対して防止教室を行っており、年間の依頼数は30数校に上ります。6年前に中野区校長会に参加し、懇談の中で吹奏楽部の発表会と一緒に薬物乱用防止キャンペーンを行なうことを提案したところ賛同していただき開催の運びとなりました。予算等の諸事情もあり毎年持ち回りで4校が参加しています。

今後の展開として、より多くの学校に参加をしていただくとともに、厚労省へキャラバンカーの出動をお願いしていきます。全区にこのキャンペーンを普及するため、中野各種団体の後援、

テーマ:薬物乱用防止
於 JR中野駅前



協賛を得て青少年健全育成として本活動を広めていきたいと思っています。また、担当委員長及び委員は、若手、新人メンバーにこのアクティビティへの参加を積極的に促し、ライオンズ精神の学びの一環としていきたいと考えています。(レポート:会長 山下晃司)

全国犯罪被害者支援街頭募金

7R3Z東京光が丘LC

12/3(土)

12月3日(土)10:00～16:00豊島区東池袋に於いて、光が丘LCは、公益社団法人全国犯罪



被害者支援ネットワークと、練馬区軟式少年野球連盟北東リーグの8チーム、約70名の選手達と共に全国犯罪被害者支援街頭募金を行った。今年で7年目の街頭募金は、「犯罪被害に遭われた方やそのご家族が、1日でも早く安心した生活を取り戻せるように」との思いのなか、経済的な支援を目的に行われている。

当日は今井第2副地区ガバナーも駆けつけ、多くの少年野球選手と共に募金の協力を呼びかけた。師走の青空のもと「犯罪被害者支援の募金に、

テーマ:地域交流
於 豊島区東池袋



ご協力よろしく願います」の爽やかで力強い声が、響き渡る街頭募金であった。集計募金額 292,421円 (レポート:広報情報委員会)

クラブアクティビティの記事に於いてメンバーなどの呼称は、投稿の記実文を優先します。よって統一されていない箇所がありますが、ご理解お願い致します。9月30日～12月3日開催のアクティビティを掲載しています。

数寄屋橋LC 50周年

2R2Z東京数寄屋橋LC

東京数寄屋橋LCチャーターナイト50周年記念式典がロイヤルパークホテルで開催された。出席者は370名。ガバナー2名を輩出している



テーマ:50周年
於 ロイヤルパークホテル

11/26(土)

名門クラブが、ライオンズ国際協会 国際理事L中村泰久、中央区区長 矢田美英氏、社会福祉法人 さやま園 園長宮本浩史氏らを迎え、第1部式典、第2部祝宴が盛大に開催された。

第一部式典では同クラブのチャーター記念アクティビティで設置された岡本太郎作「若い時計台」をはじめとする50年間の地域を超えた数多くの貢献が紹介された。また、50周年記念アクティビティとして、①LCIF献金\$9,000、②「若い時計台」整備費用一部負担金、③社会福祉法人



恩賜財団東京同胞援護会さやま園へ、④日本赤十字社血液センターへ、⑤熊本城復興支援(復興城主)へのドネーションが行われた。式典には元国際会長、LCIF理事長L山田實紘がサプライズで駆けつけ登壇し、50周年の祝辞を述べた。第2部では立教大学New Swingin' Herdの演奏が祝宴を華やかに盛り上げた。(レポート:広報情報委員会)

テーマ:結成式
於 山王日枝神社内「日枝あかさか」

山王LC 結成記念第1例会

東京山王LC

2016.11.29.(火) 18:30から山王日枝神社内「日枝あかさか」において東京山王ライオンズクラブ結成記念第1回例会が開催された。総勢68名



11/29(火)

が出席。例会前のオリエンテーションで、歴代の元地区ガバナー3名(L河合悦子、L石井征二、L宇田川雄弘)からLCアラカルトと題して経験談を中心にライオンズ精神、心得について説明がなされた。

例会では、米国シカゴ本部へのチャーター申請書に村木秀之ガバナーとエクステンション委員長L荒木貞夫とが署名し申請の手続きが行われた。また、東京石泉LC会長L加藤利久から記念品が贈られ、新メンバー全員で右手を高らかにあげ地



域社会への奉仕を誓った。チャーターナイトが待ち遠しい未来へ広がる初々しい結成式であった。(レポート:広報情報委員会)

深川LC 50周年

4R2Z東京深川LC

ホテルイースト21東京にて深川LC、50周年チャーターナイトが村木G、キャビネット役員、地



テーマ:50周年
於 ホテルイースト21東京

12/3(土)

域団体の皆さまを迎え、約200名の参加で盛大に行われた。第一部の式典で記念アクティビティが発表され、①江東区立明治小学校マーチングバンド、②深川消防少年団、③江東区深川学童少年軟式野球連盟、④深川っ子運動会実行委員会、⑤江東中央ライオンズクラブ協力金、⑥社会福祉法人江東区社会福祉協議会、⑦江東区立八名川小学校創立100周年を祝う会、⑧深川芭蕉小中学生俳句大会へ贈呈された。アクティビティのテーマ

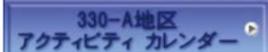


は、文化、防災、青少年健全育成、福祉と多岐にわたり、先輩ライオンが築き上げてきた半世紀にわたる幅広い地域との交流、取り組んだ活動が手に取るようにわかるチャーターナイトであった。(レポート:広報情報委員会)

CAPアクティビティカレンダー 【CAP委員会・330-A地区ホームページ】

330-A地区ホームページに ①クラブアクティビティのカレンダー表示 ②リンク先の共有 ができればと思います330-A地区 アクティビティ カレンダーを作成しました。

リンクは330-AのHPのパナーから↓↓↓



このカレンダーは「一般に公開」設定しておりますので、リンク先さえ分かれば、どなたでもご自

身のgoogleカレンダーに表示可能です。既にCAP委員会ならびに副幹事の皆さまにはお試して使用いただいております、今後はお意見を頂戴しながら適宜修正を加えていく形になるかと思っております。

当面、カレンダーの中身はCAP委員会にて情報収集から入力・修正作業を行う予定です。クラブアンケートと共に、使い方の説明も併せて行う必要があるかと存じます。いずれにせよ、メンバーの皆さまにとって利便性の良い物になれば



幸いです。何卒よろしく申し上げます。(CAP委員会 委員長 L伊賀 保夫)

キャビネット関連報告 委員会セミナー等告知

10/22(土)~11/9(土) パラリンピック選手支援 in 日比谷公園

【オリパラ】 於 日比谷公園

9日間にわたる日比谷公園ガーデニングショー2016において、パラリンピック選手支援のため、ステージならびにテントブースの運営を主管した。ステージ上では聴覚障害の方々の和太鼓など、様々なパフォーマンス。29日にはリオに出場したポッチャ廣瀬、陸上樋口・佐藤、30日は高田裕司千明夫妻をお招きしトークショーを行った。

困難な状況にありながらパラリンピックを目指す彼らを応援すべく、日比谷公園から2020年に向け咆哮した。



(レポート:オリンピックパラリンピック支援委員会 L金澤喜章)



11/15(火) 第2回キャビネット会議

【CAB】 於 新宿京王プラザホテル4F花

第2回キャビネット会議がキャビネット構成員111名の内96名が参加し開催された。各位挨拶の後、100周年薬物乱用防止大パレードのビデオの上映、警視庁丸の内警察署の後藤裕一氏から協力御礼があった。次に同パレードのPR効果について報告され、続いて前地区G L近藤、3RC L浅井へアワード贈呈がなされた。協議事項は全て承認された。委員会提出案件は、会員除名のガイドライ

ン策定が中長期ビジョン委員会へ諮問されることになった。報告事項では、OSEAL Forumの開催地に入札制が導入され2019年開催地に広島が入札したことが報告された。また、RCZC資格のガイドラインについて指導力育成委員会に諮問されることとなり、3年に一度発行の名簿は、HPにセキュリティを厳重にして電子版として発行する等の報告もなされた。(レポート:広報情報委員会)



11/15(火) 危険ドラッグ撲滅都民大会

【薬物乱用防止】 於 東京芸術劇場大ホール

2016.11.15.(火)東京芸術劇場大ホールにて、危険ドラッグ撲滅都民大会が開催された。330-A地区からは、有志100名が参加し薬物乱用防止運動推進の意義を改めて確認した。警視庁のビーボ君やダメ、ゼツタイ君も出席して薬物勧誘の「断り方」などを実践した。主催:警視庁 協力:東京都



11/28(火) 参加者全員で考えたゾーン・チェアパーソンセミナー

【指導力育成】 AP西新宿会議室

去る、28日にAP西新宿会議室においてZC(以下ZC)セミナーを開催致しました。当日は、村木ガバナー、今井第二副地区ガバナー、ZCを含めたキャビネット役員にご参加頂き40名の盛会となりました。第1部では橋口GLTが「ZCマニュアルの活用法」について講演されました。第2部ではワークショップ形式で、「ZCのリーダーシップとは?」「現状クラブの問題点と打開策」に

ついて活発なディスカッションが展開されました。今回のワークショップでは、ZCおよびクラブの抱える様々な問題点が浮き彫りにされました。今後は、ZCの皆様からの声をまとめてキャビネットに提言するとともに、次年度以降のZCの活動資料の一助になることを期待しています。最後に、全面的にご協力頂きました青年アカデミー委員会の皆様には心から感謝致します。



(レポート:副委員長 L加藤敏彦)

10/21(金) FWT全日本女性フォーラム in 東京 開催

【FWT】 於 憲政記念会館 出席者417名

本年6月福岡での第99回国際大会で選出された、グドラン・ビョート・イングバドター国際第2副会長(アイルランド・ガザバイル)、元国際理事ジョン・ビャルニ・ソルスティンソン夫妻が出席し、フォーラムin東京が開催された。

国際第2副会長の基調講演は、まず全日本の女性会員の割合が25%に急上昇したことにお祝いを述べ、次の目標として女性リーダー育成を掲げた。また、女性会員増強において、時間を持て余している人より、忙しくしている人、タイムマネジメントができる人を誘うとクラブが活性化でき、新たなリーダー出現に期待できると自身の経験を語った。

30年以上前から自国アイルランドの大統領(1980-96)は女性が選ばれており、今世界で、日本で様々な分野でリーダーが生まれ始め、「私たちが真のヒロインを育てていこう」と呼びかけ結んだ。後半は、内閣府政策統括官付参事官 相川 哲也氏の「国の子供の貧困対策について」の講演、8複合地区の活動報告のあと、東京都知事のL小池百合子からのビデオメッセージが届けられた。

ヘルスケアや教育分野など女性ならではのきめの細かい奉仕がニーズの変化とともに地域社会で必要とされる時代の到来を感じさせるフォーラムであった。



(レポート:広報情報委員会)

11/7(金) Dr.L山田實紘 LCIFセミナー

【LCIF】 於 憲政記念館

Dr.L山田實紘LCIFセミナーが開催された。参加者140名。

330-A地区LCIF委員長L伊賀則夫が司会を担当。開会、村木ガバナーの挨拶、来賓の挨拶のあとLCIF理事長L山田實紘の講演が行われた。LCIF概略、交付金の種類、世界の寄付国別トップ5(1位台湾、2位日本、3位韓国、4位アメリカ、5位インド)など内容は多岐にわたり、LCIFが「チャリティ・ナビゲーター」(米国の慈善団体評価組織)から4つ星の最高評価を得たことや2017年-18年度にLCIF創立50周年を迎える

年に5,000万ドルの資金獲得目標が披露された。会場からは、330-A地区が特に力を入れている、青少年健全育成として薬物乱用防止活動へのLCIF資金投入の要望があった。L山田實紘は、例会出席主義からアクティビティ参加主体の運営を目指し、事務局経費を抑え市民のニーズに合致したアクティビティへ会費、ドネーションの多くを投入するべきと昨年の旭川での国際会長訪問時に語った方向性とぶれない切れ味鋭いプレゼンテーションを行った。クラブの会費の利用の仕方考えさせられるセミナーであった。



(レポート:広報情報委員会)

11/10(金)~13(金) OSEALフォーラム in 香港

【国際大会参加】 於 香港

2016年度のOSEALフォーラムが香港で開幕しました。私は2009年のパタヤから毎年参加し8回目のOSEALフォーラム参加ですが、香港という街の魅力も後押しして例年以上に活気があり8,000人以上が参加。女性メンバーの参加も多く、楽しみにしていた登録グッズも充実しており、ライオンズ関連製品も種類が多くなったように感じました。

国際大会は200か国以上の参加国紹介や国旗入場イベントがありますが、OSEALフォーラムの楽しみ方としては東洋・東南アジア各国のMD議長ならびに地区ガバナーと同伴者のレッドカーペット入場シーンです。地区ガバナーとしての誇りと1年を頑張る決意の下レッドカーペットを揚々と歩き、また参加メンバーがそれを支えて応援していく熱意を感じるセレモニーが行われるのです。特に韓国や台湾のメンバーは熱狂的ですが、近年は中国の勢いが顕著です。地区ガバナーも若い!

色から生まれる各国ライオンズメンバーの統一感が、団結力の強さや勢いを感じさせます。日本は8複合地区にも渡るので難しさがあるかもしれませんが、ぜひ今後はワンポイントでも統一感を持ち、アジアや世界での存在感を出していきたいですね。

ボブ・コーリュー国際会長のスピーチは大変迫力があり、世界のライオンズクラブが更に成長を遂げている姿を感じることができました。今期CAP委員会委員長の立場として見た所管ですが、国際大会やOSEALフォーラムに参加する意義としては、日本や世界の他地区の知り合いメンバーに再会できる楽しさと、他国の熱狂を共有するだけでなく、今後は各国ごとのまとまりを超えて相互の友情や信頼関係を構築できるプログラムに発展することを期待しております。世界最大の奉仕団体の利を生かして、ライオンズメンバー各国に1人の友人を作ることができたら最高ですね!

(レポート:CAP委員会 委員長 L伊賀 保夫)



(写真提供:国際大会委員会L清水雄二)

募集告知

2017.2/23

東日本・熊本復興委員会からののお知らせ

2017.2.23.新宿の「ルミネtheよしもと」で東日本・熊本復興支援ライブを開催いたします。両被災地の方々に来年3月、4月に「心のケア」を届けるためのアクティビティです。皆さまご参加よろしくおしいいたします。詳細は、募集チラシをご覧ください。



撮影:2014年4月

ライオンズクラブ国際協会330-A地区主催

東日本・熊本復興支援

被災者の方々に「心のケア」を届けましょう!!
チャリティ「お笑いライブ」
@ルミネ the よしもと ※出演予定者は変更になる場合があります



2017年2月23日(木曜日)

1回目 12:00~ 2回目 14:00~ 3回目 16:00~ 4回目 18:00~



2016-2017 地区ガバナー 村木 秀之



東日本・熊本復興支援特別委員会 委員長 L河合 悦子

東日本・熊本復興支援の為にチャリティ「お笑いライブ」を企画致しました。2017年3月、4月、東北・熊本被災者の方々に届けて致します。ご協力をよろしくお願い致します。

行動、実践を旨として今期委員長を拝命致しました。被災地の方々に「心のケア」で寄り添いたいと思います。ご協力を伏してお願ひ申し上げます。

チケット代

(観覧料・お土産・ドネーション含む)

一般席 5,000円

特別席 7,000円

(特別指定席・出演者との記念撮影あり)

立見席 2,000円

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 キャビネット事務局
TEL 03-5330-3330 FAX 03-5330-3370

募金募集中

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)について

LCIFが創立してから49年になりました。目的は①ライオンズが共同で世界規模の人的問題に対応できるよう支援。②ライオンズが他のライオンズを支える手段。③地区やクラブには大きすぎる事業に資金援助。④ライオンズが地域によりよく貢献できるよう交付金プログラムを開発するためです。

この制度ができて49年経つのに、全世界のクラブ会長のうち、11%が昨年度LCIFに個人的に寄付を行いました。つまり、約90%のクラブ会長はLCIFに全く寄付をしていません。全世界の会員のうち、6%が昨年度LCIFに個人的に寄付を行いました。つまり、94%の会員は、LCIFに全く寄付をしていません。

未だ毎日400人が「はしか」で命を落としています。貴方の1ドルで、1人の子供の命が救えるのです。下記は100ドルの寄付でできる主なアクティビティです。

★100人の子供に「はしか」の予防接種。 ★スペシャルオリンピックスの選手に聴力検査。

★被災家庭に1週間分の食糧援助。 ★ライオンズクエストのクラスで30人にライフスキル教育。

★白内障手術2~3件。★貧しい家を支える起業資金融資(マイクロファイナンス)

「330-A地区のメンバー皆がLCIFの活動をよく理解し、献金してライオンズ国際財団をリードしていきたいですね」



天使のピアノ

現存する日本最古のアップライトピアノ

1891(明治24)年に石井亮一・筆子夫妻によって創立された日本初の知的障害児福祉施設「滝乃川学園」にあるピアノ(1885(明治18)年製造)は、別名「天使のピアノ」と呼ばれている。その名の由来は、鍵盤上の板に嵌め込まれた、2人の幼児を抱いた天使が描かれたガラスにあると伝えられている。筆子が戦前愛用したこのピアノは、戦後何十年も忘れ去られていたが、国立市民や日本調律師協会の献身的な努力によって見事に復元された。現在は都内各地でのコンサート等に供され、鹿鳴館時代の音色で聴衆を楽しませている(2003(平成15)年 国立市登録文化財に指定)。

我らがライオンズクラブも創立100周年を迎え、各種関連イベントが目白押しであるが、創立の趣意を改めて心に刻み、これからの活動に反映していくこと、それ自体が素晴らしい周年アクティビティといえるのかもしれない。(L荒牧 知子)



今後の主な行事予定

- 2017
- 1.31. 臨時第1回キャビネット会議・賀詞交歓会:新宿京王プラザホテル
 - 2. 3. アワード申請締め切り (クラブ⇒ZC)
 - 2. 9. 会員増強セミナー レストランけやき 霞が関ビル35階
 - 2.23. 復興お笑いlive 新宿ルミネ the よしもと
 - 3.15. 第3回キャビネット会議:新宿京王プラザホテル
 - 4.22. 第63回年次大会 東京プリンスホテル(条件がそろえば、4.17. 1日目開催)
 - 6.12. 第4回キャビネット会議:新宿京王プラザホテル
 - 6.30~7.4. 第100回国際大会(国際協会創設100周年記念大会):CHICAGO, IL, USA



編集後記

11月米国大統領選挙が行われ、強い米国の復活を掲げるトランプ候補が当選しました。大方の予想は、ヒラリー候補有利と報道されていましたが、その衝撃は大きく復活への期待感からか株価や為替が激変しています。また欧州各地の選挙・投票でも市民意識に変化がみられ、国の進む方向性がオープンからクローズへと転換した様にも感じられます。

私たちライオンズクラブは、100年変わらずWe Serveの精神、ノブレス・オプリージュの気概で地域社会へ奉仕を続けて参りました。これからも私たちの心には大きな壁を造らず、知性を高め、友愛と互いをよく理解する精神を養い平和と自由を守っていくことが大切であると思います。

さて、330-Aニュース3号が完成しました。特集として100周年記念パレードやLeaders Interview 2コマ、また多くのクラブ、委員会からの積極的な投稿で充実した内容となりました。ぜひ皆さまからの感想等をお待ちしています。 e-mail: cab@lions330-a.org

クラブアクティビティ・委員会セミナーの予告、報告は、330-A地区HP右上の投稿欄からお願いいたします。330-A NEWSデジタル版は、過去の地区ニュース5年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。

◆HPは、「330Aで検索」



◆電子版 QRコード

2016-17広報情報委員会 メンバー紹介

L赤尾嘉晃	委員長	(豊新LC)
L後藤裕文	副委員長	(法政LC)
L吉岡 晋	副委員長	(けやきLC)
L津守勝男	副委員長	(大森LC)
L桂 太郎	副委員長	(世田谷LC)
L荒牧知子	委員	(東京LC)
L須藤三男	委員	(芝LC)
L田下一雄	委員	(隅田川LC)
L大類雅之	委員	(江戸川中央LC)
L遠藤真太郎	委員	(江戸川中央LC)
L矢追秀紀	委員	(ウエストLC)
L飯田容子	委員	(表参道LC)
L窪田直隆	委員	(三鷹LC)
L里井純二	委員	(西東京LC)
L大和祥郎	委員	(国立LC)
L向井忠義	SPA	(三鷹LC)
L矢田部満	SPA	(調布LC)
L鹿野祥誠	担当副幹事	(数寄屋橋LC)